

平成29年4月9日
今週のベストショット



雁レクA 新町ウインズ 対 三苦三球会戦

先頭打者HRを含む3安打と鮮烈デビューの新町ウインズ一番手泉太一選手（18歳）。

写真：奈多フェニックス 能丸英和

奈多グラウンド 三友クラブが久岡、足達投手リレーによる2安打完封で初勝利をものに！

レッドサンデーズ（1敗）000000 0 塚本●、古賀一荒口、前田

三友クラブ （1勝）20020× 4 久岡○、足達一柿崎

3HB：山崎（三友ク） **2HB**：柿崎、山本（三友ク） **盗塁**：平田、松尾（三友ク）

桜満開の絶好の野球日和、両チームの今季初試合が開始された。レッドサンデーズは先攻、三友クラブが後攻。初回、レッドサンデーズは幸先よくヒットが欲しかったが、久岡投手の前に三者凡退に倒れる。反対に三友クラブは一番坂本（歩）選手がいきなりレフト前ヒットを放ち、相手失策も絡め四番柿崎選手のタイムリーヒット等で2点を先取。尚、四回表には先頭の山崎選手が右中間へ三塁打を放つ。ここで勢いがついたのか、後続の松尾選手、山本選手も続き2点を追加。その後、三友クラブは守りでも気を緩めず着実に回を重ねていく。レッドサンデーズは六回表に梅野選手が意地のレフト線へヒットを放つが、相手先発久岡投手、二番手足達投手の前に2安打に抑えられた。三友クラブは、2人の投手と意外にも攻守に活躍した山崎選手が印象的だった。チームとして幸先良くスタートが切れたのではないかと。（記事・写真：三苦フレンズ 肥喜里 一征）



桜満開の奈多グラウンドで試合開始！



三友クラブ先発の久岡投手。



レッドサンデーズ先発の塚本投手。



一回裏、左中間へ適時二塁打を放つ四番柿崎選手。



二回表、軽快に4-5-3のWプレーを見せた二遊間コンビ。



三回表、強い打球も軽快に久岡投手が二塁へ送球。



四回裏、左腕古賀開投手から三塁打を放つ山崎選手。



四回裏、必死に追加点を阻止しようと鼓舞する荒口捕手。



六回表、確実にサードゴロをさばく坂本（歩）選手。



六回表、またもや軽快にセカンドゴロをさばく山崎選手。



六回表、レフト線へ意地のヒットを放った梅野選手。

青松園A 奈多サンデーズ満開！ エース砂場投手1安打完封劇！！

塩浜ジャガーズ（1敗）0000000 0 砂場○ー長濱

奈多サンデーズ（1勝）012003X 6 内田●ー橋村

HR：鳥羽、長濱（奈多サ）

外野の桜も満開となりソフトボールシーズン到来となったこの試合。両投手とも初回こそ無難な立ち上がりを見せたが、二回裏奈多サンデーズは一死七番鳥羽選手からの三連打で満塁とし、ジャガーズ先発内田投手を責めたてるも投手エラーによる1点のみとなった。その裏ジャガーズは内野守備のミスで一死一二塁とチャンスを作ったものの後続が倒れて無得点。三回裏二死一塁からサンデーズ鳥羽選手が左中間を抜く今季第1号を放ち突き放すと、六回裏には長濱選手の左中間を破る3ランHRで突き離し試合を決めた。投げてはエース砂場投手が1安打完封と危なげない投球を見せ今季初勝利を飾った。（記事・写真：三苦ホーネッツ 塚 厳生）



満開の青松園グラウンドの桜。



1安打ピッチングの好投を見せた砂場投手。



塩浜ジャガーズのエース内田投手。



復帰した主砲立石選手の豪快なスイング。



二回裏、痛恨のワイルドピッチで先取点を献上。



セカンド荒木選手の手堅いプレー。



三回裏、左中間を抜き、激走する鳥羽選手。



2ランHRを打った鳥羽選手。



六回裏、3ランHRを打って迎えられる長濱選手。



渋い表情のジャガーズ水流監督。



ジャガーズ唯一のヒットを放った石内選手。



華麗（加齢）なプレーを見せるサンデーズ木下選手。

青松園B 雁の巣ライナース猛打爆発、着実に点を重ね完勝

雁の巣ライナース（1勝）4 3 2 6 2 17 有馬○ー鳥越

ブルーマーリンズ（1敗）2 0 0 0 0 2 佐藤●ー井上（広）

HR：鳥越、明瀬（航）2（雁の巣）3 BH：宇野、中口（雁の巣）桑野（ブルー）2 BH：中口（雁の巣）

盗塁：明瀬（旭）、今林（雁の巣）

一回表、ライナースは一死から相手の連続エラーで二者が出塁すると、四番宇野選手の右中間三塁打で2点先制。さらに相手のミスもあり2点を加え4-0とする。対するブルーマーリンズは二番末松選手が内野安打で出塁すると、三番佐藤選手もヒット、四番桑野選手の左中間への二塁打で2点を返す。二回表ライナースは、四球と相手ミスから3点を奪い突き放すと、その後は持ち前の強打が爆発。三回には一番中口選手のライトのネットに突き刺さる三塁打などで2点。四回は鳥越選手と明瀬（航）選手のHR、五回は明瀬（航）選手のこの日2本目のHRなどで打ちまくり毎回の17得点。ライナース有馬投手は初回以降要所を抑え圧勝。ブルーマーリンズは守備の乱れから得点を許す悪い流れを止められなかった。（記事・写真：ソルトベイスターズ 田中 裕次郎）



お互い初戦の試合前握手。



要所を押さえ好投したライナース有馬投手。



ブルーマーリンズ先発の佐藤投手。



一回表、盗塁を刺すブルーマーリンズ井上（広）捕手。



一回表、サードゴロをうまく処理するも・・・。



一回表、先制の三塁打を放ったライナーズ宇野選手。



一回表、盗塁を刺すブルーマーリンズ井上（広）捕手。



一回裏、右飛を好捕するライナーズ今林楓汰右翼手。



一回裏、2点を返す三塁打のBマーリンズ桑野選手。



二回表、盗塁を成功ライナーズ今林楓汰選手。



三回表、ライトネットに突き刺さる三塁打の中口選手。



中口選手の当たりで長駆ホームインする今林楓汰選手。



四回裏、HRの祝福を受けるライナーズ鳥越選手。



四回裏、HRを放ち笑顔で生還する明瀬（航）選手。

雁レクA 新町ウインズが2本のホームランで開幕戦を勝利

新町ウインズ（1勝）1000400 5 藤田○ー今林

三苦三球会（1敗）1000000 1 吉留●ー藤澤

HR：泉（太）、桐島（新町ウ） 盗塁：安藤）、吉溝2（新町ウ）

前日の雨の影響もなく最高のグラウンドコンディションで開幕戦が始まりました。一回表新町ウインズは泉太一選手の開幕戦先頭打者ホームランという最高のかたちで幸先良く1点を先制する。その裏三苦三球会も制球が定まらない藤田投手をヒットと四球で攻め、一死満塁のチャンスをつくり、五番堺選手の押出し四球ですぐさま同点に追いつく。さらに勝ち越しのチャンスだったが剛腕藤田投手の前に後続が続かず1点で攻撃が終了する。勝ち越し点がほしい三苦三球会は、二回裏も満塁のチャンスをつくるも、あと1本が出ず得点することができない。初回以降は両投手ともランナーを出すものの粘りのピッチングでスコアボードに0を並べていく。試合が動いたのは五回表、新町ウインズは泉選手がこの日3本目のヒットで出塁すると続く安藤選手もヒットで続き、三番吉溝選手のショートエラーの間に二塁ランナーが還りほしかった勝ち越し点をとる。さらに一三塁からのダブルスチールで追加点を取り、最後は桐島選手の特大2ランでこの回4点を取り試合を決める。新町ウインズは連打と2本のホームランで開幕白星スタート。一方、三苦三球会は序盤に制球が定まらない藤田投手を攻めることができず黒星スタートとなりました。（記事・写真：奈多フェニックス 能丸英和）



尻上がり調子で完投したウインズ藤田投手。



七回を完投した三球会吉留投手。



一回表、先頭打者HRでホームインするウインズ泉太一選手。



三回裏、強烈なレフト前ヒットを打った嶽崎選手。



五回表、3本目のヒットでチャンスメイクした泉太一選手。



五回表、3点目のホームを踏む安藤選手。



ホームランを打った桐島選手（左）と泉太一選手（右）。

第2週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第2週、4月9日は前日の雨が心配されましたが、無事4試合が行われました。

奈多グラウンドのレッドサンデーズ対三友クラブ戦は、先の藤本杯で三友クラブ（和白4区）にサンデーズ（奈多+レッド）が大敗を喫してのリベンジマッチとなったが、レッド塚本、古賀（開）両投手の立ち上がりを捉え、2点ずつ奪った三友クラブ。守っても久岡、足達投手のリレーで2安打に抑え、0-4で三友クラブの勝利。欲しいところで安打の出る三友クラブのリズムのよい試合展開が目をつけた。

青松園Aの塩浜ジャガーズ対奈多サンデーズ戦は、好投手ジャガーズ内田投手に対して9安打2HRを集めたサンデーズ打線の好調さに加えて、何とんでもサンデーズ先発砂場投手の安定感がよかった。昨シーズンまで四死球からリズムを崩していたが今回は2四死球に抑え、被安打1、7奪三振と見事な投球。HRを放ったサンデーズ鳥羽選手は昨シーズンまでの佐賀・武雄から転勤で今シーズンは熊本からの参戦。事故だけには十分気を付けて活躍してほしい。いったい何時に家を出てるんだろう？

青松園Bの雁の巣ライナース対ブルーマーリンズ戦は、初回からライナース打線が爆発し毎回得点の17得点。投げてはライナース有馬投手が初回こそ3安打で2点を失うも、あとは2安打に抑え17-2でライナース勝利。今年は昨年まで一二番を打っていた明瀬ブラザーズが六七番に入る新オーダー。これも破壊力がある打線で岩崎監督の手腕が光る結果となった。今後や如何に？ブルーマーリンズは昨年の躍進賞を今年にも活かして欲しい。ちなみに「雁の巣」表記が正しく「雁ノ巣」ではないそうです。昨シーズンまで「雁ノ巣」表記で失礼しました。

雁レクAの新町ウインズ対三苦三球会戦は、ウインズ一番打者・泉太一選手のWSL初打席先頭打者HRという鮮烈デビューで幕を開けると同点で迎えた五回表も泉太一選手が突破口となり桐島選手のダメ押しHRを呼び込んだ。投げてはウインズ藤田投手がいつもの不安定な立ち上がりを1失点で乗り切ると尻上がりに調子を上げ、終わってみれば5-1でウインズの勝利。

第2週目が終わり、昨季の上位チームが順調に白星を挙げている。下位チームにも更なる奮起を期待したい。